

カジノ誘致は立ち止まれ

大阪市議会都市経済委で山中議員

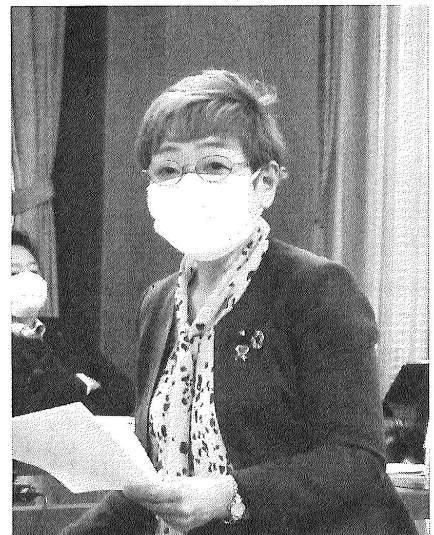
17日の大阪市議会都市経済委員会、日本共産党の山中智子議員が質問し、カジノを核とする統合型リゾート（IR）の誘致を巡り、府と大阪市が

開業時期を明記しない実 25年大阪・関西万博との同時開業を断念し、27年度に先延ばしして

府市は新型コロナウイルスの影響で、府市は当初の20

25年大阪・関西万博との同時開業を断念し、27年度に先延ばしして

「20年代後半」と記すにとどめ、開業時にIR事



質問する山中議員＝17日、大阪市議会都市経済委員会

業者に求める展示施設や宿泊施設の規模の縮小、段階的な整備も容認。これによるとIRの完成は45年先になります。

山中氏は「IR誘致はとんでもないと言ってきた。どの世論調査でもカジノ反対が多数。いまコロナで苦しんでいる市民の顔を思い浮かべるとき、それでもカジノが絶対なのか」と力説しました。

IR推進局は「IRはコロナ収束後の日本経済をけん引し、大阪・関西の成長のエンジンとなる」として誘致に固執。

山中氏は「パンデミック（世界的大流行）はコロナで終わりではないという意見も強い。インバウンドが元に戻るからIRは大丈夫だ」という市政運営はあり得ない」とし、立ち止まるよう求めました。

山中氏は万博についても、「時代にふさわしい簡素なものにする道もある。少なくとも夢洲での開催は中止し、夢洲開発はやめて、そこに充てるようなお金や職員力をコロナ対策に充てるべき」と主張しました。